

Primula



Vol. 106

プリムラ山の会

目次

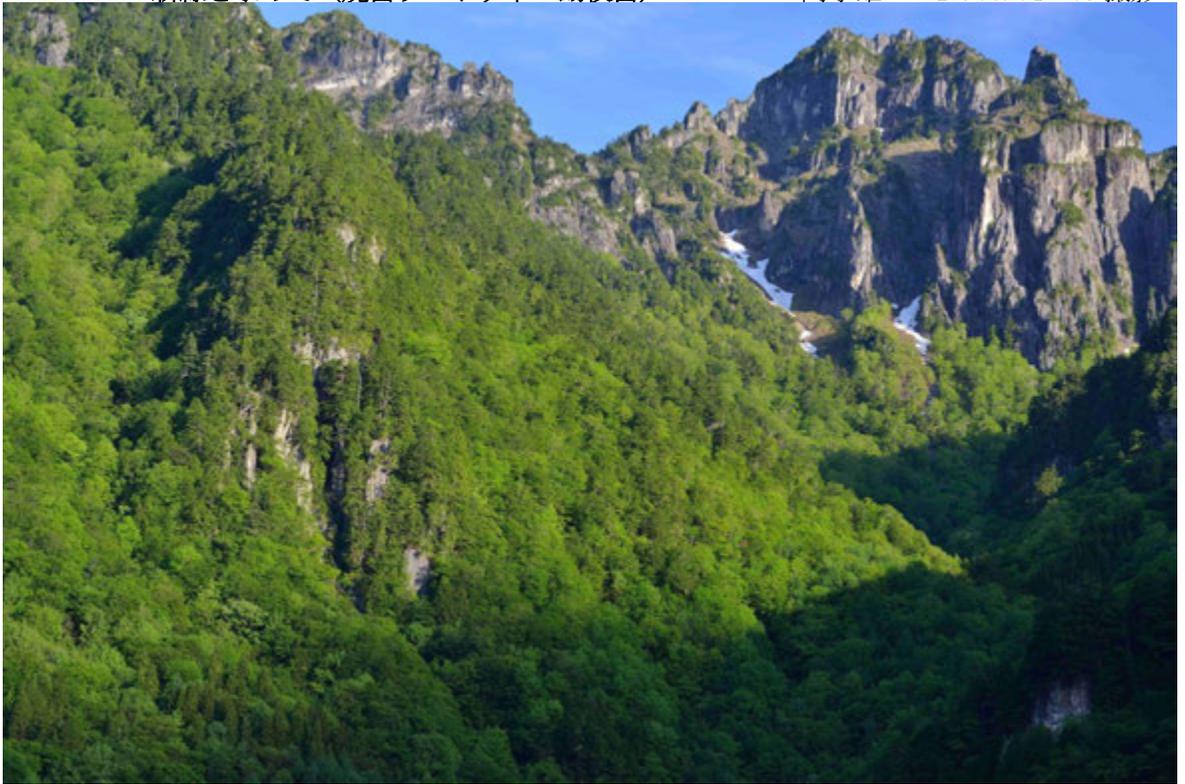
In a shot	1
お題：「バテた。バテた」	3
2017年冬の山行 市瀬 江利子	4
今シーズンの山スキー 初鹿 裕康	15
今シーズン山スキー2017 北原 浩平	20
積雪期のマイナールートも楽しいワン U^ェ^U その25	32
景色を見ながら . . . 初鹿 裕康	35

In a shot

新緑を求めて (焼岳リンドウ平・錫杖岳)

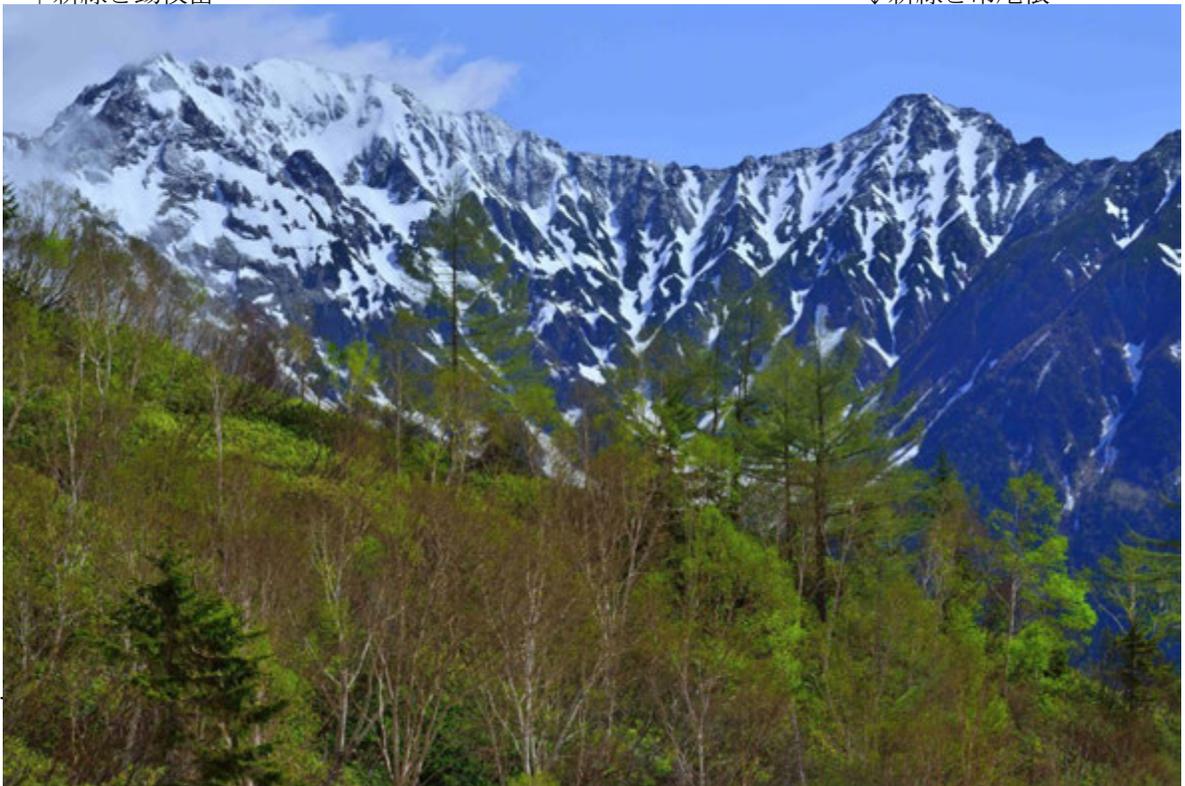
岡孝雄

17.06.04・05 撮影



↑ 新緑と錫杖岳

↓ 新緑と吊尾根



安房峠の開通を待ち望んでいたが、6月に入ってどうにか開通した。今年の残雪は多く、峠越えの通行はどこも遅れているようだ。夜通しの運転は最近辛くなっているが、途中何度かの休憩をはさみ焼岳中ノ湯登山口にたどり着いた。経験から朝方の撮影は全体に赤みがさして新緑の描写には向かないことが分かったので、ゆっくりと出発する。でもこのことが、後で失敗の原因となってしまった。

いくらかの残雪があるが、踏み抜きに気を遣いながら2時間ほどで、焼岳山頂への分岐点のリンドウ平に到着。ここはかねてより撮影ポイントとしてマークしていて、春秋に数回訪れているが、奥穂と前穂の釣り尾根を背景に、落葉松の彩に季節を感じさせてくれる好きなポイントだ。岳樺の芽吹きが少し早いようで幹の白さが気になるが、落葉松の柔らかい緑と釣り尾根の残雪の白さの組み合わせで絵になる。バランスを考えながら撮影をしているうちに前穂より雲が湧きだしはじめ、岳沢まで下りてきてしまった。出発を1時間早めればよかったと反省しかり。待機して見るものの回復は望めそうにない。なかなか会心の撮影はできないものだ。数日後再度出かけたが高曇で光が弱くインパクトに欠けたが、自然の変化は早く新緑は濃くなっていた。これで今春の撮影は終わり。

翌朝の撮影ポイントの鍋平高原よりの錫杖岳へ。中尾の露天風呂に入りのんびりとくつろぐ。うるさいくらいの川音に雪解けの季節を感じながら惰眠をむさぼる。こんな時間を過ごせる贅沢に感謝。アルコールが少なすぎたので夜が長かった。それでも珍しく名古屋のFMが良く入り、深夜便で慰められた。

明け方少し冷え込んでくれたおかげで爽快な朝を迎えた。やはり日の出時間は赤みが多く新緑には向かないようだ。夏至近くの光は随分北に寄り、西穂独標方面から差し込み、錫杖の岩場の立体感を強めた。冬場は正面に光が差し込み赤く染まるものの何となく迫りに欠けるようだ。十分にクリア谷迄光が届くようになり期待通りの状況が生まれてきた。新緑の明るさ表せる露出の設定をし、画面に大きく取り込んだ。幸い薄い巻雲も協力してくれ、気に入ったカットを撮影できた。

一段落した後、滝谷出合を目指して林道をのんびり歩き始める。穂高平の避難小屋は開放されていて快適に過ごせそうだ。下山後登山センターの話によれば冬季にも使用できるそうだ。又牧場の右側には西穂南西尾根方面に向かう新たな指導票があり、最近小屋主により多少整備されてはいるものの一般的でなく、展望は利かなとのこと（センターでの話）白出沢を過ぎ登山道に入ると、道際には二輪草が多くあり気を紛らせてもらった。途中横断する沢筋には残雪が多く、モンベルのアンパン型夏靴ではキックステップが利かず慎重を要した。期待をしていた新緑と滝谷には程遠く、出合の芽吹きは未だで梅雨時期に再度訪れなければならない感じだ。壁の雪は皆落ち黒々としていて、雲の動きを利用して数カット撮影するが、光が弱く立体感が出しにくく諦めの下山とした。

「バテたバテた」

山でばてたこと。本当にばてて、命の危険も少し感じたのは、前に書いた、春の剣、源次郎尾根を登った帰り、黒部ダムへの登りで雨に打たれて、体温が下がってしまったとき。あの時は、もう少しで、トンネルに入れるという気持ちと疲れから、オーバーヤッケを着ると言う正常な判断が出来なかった気がします。作ってもらったペットボトルの湯たんぽに助けられました。

(E. I)

(H. H)

山を始めた頃は山に行ってバテないことなんてなかった。自分より先にバテてくれる人がいると、自分はバテなかった。誰かがバテると楽ができたから。

最近でバテたのは何年か前のおんたけ100kmトレラン。エイドステーションに物がなくて参った。典型的なハンガーノック。最後は寝てるのか歩いているのかさえ分からなかった。ゴールまで18時間もかかってしまった。

(H. S)

プリムラに入会する半年位前、以前から気になっていた奥多摩駅から雲取山への往復をやってみました。登りの途中で膝と。ふくらはぎに痛みを感じたものの、どうしても、やってみたくて続行してしまいました。無事登頂したものの、下山の途中で鷹ノ巣避難小屋にあった果物の缶詰に手をつけてしまいました。奥多摩駅に着いたのは、夜8時頃でした。翌日は足が痛くて病院に行き軽い肉離れと診断されました。

まだ山を始めたばかりのころ、八ヶ岳縦走、鳳凰三山縦走ときて、黒戸尾根から甲斐駒岳を試みた。装備も登山靴も間に合わせのものでのテント泊山行。装備も重くて最後はバテバテで登山口の竹宇神社にたどり着いた。典型的なしゃりバテで、野菜サラダとステーキに食らいついた。

(K. K)

2017 年冬の山行

市瀬 江利子

山城： 高山（483m）@ 浦佐／上越

日時：2017/03/20

メンバー： 初鹿、水野、北原、市瀬

コースタイム： 普光寺山門（9:45） - 高山（12:15） - Lunch（12:30-13:30） - 普光寺山門（14:20）

今年初の子連れでない山行です。大好きな雪山。前泊が厳しいので、早朝出で、日帰りで、危なくなくて、ついでに景色も良くて雪山を堪能できるところ、という難題をはっちゃんがクリアしてくれました。検索してもヒットはほぼ出てこない、上越新幹線、浦佐駅の裏山にある高山です。

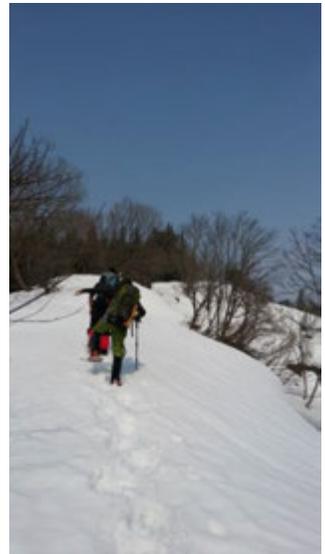
山門↓



駐車場に着きます。この近さが嬉しい！

すぐに尾根はこんな感じに。快晴です！

自宅 5 時出で、阿佐ヶ谷、井荻に向かいます。渋滞にはぼはまることなく、関越道大和スマート I C から約 5 分で善光寺の





ここで、久しぶりの冬山装備装着中に、なんと、アイゼンを忘れてしまったことに気づきます。久しぶりの冬山にアイゼンも持たずに来てしまうとは、と凹みますが、行けなかったら途中で戻ってこようと自分に納得させ、山門からお参りをして、いざ出発です。最初の一步で雪を踏み抜いてしまうため、ここでわかんを装着します（結局このまま最後までわかんで行けてしまいました）。この斜面は墓地になっているのですが、ちょっと失礼して間を登らせてもらいます。最初の登りは若干きついですが、尾根上に出てしまうと、眼下には思いがけず雪の平原が広がり、景色は抜群です。登っている人もなく、奥深い雪山にきた錯覚を覚えます。雪をかき分けて登ることの楽しさ！腰までのラッセルとまでは行きませんが、膝下まででも十分楽しく登って行きます。途中、頂上直前に一か所、若干段差のある雪壁がありますが、ここは埋まっていたロープを頼りに

↑ 頂上前の雪壁

登ります（帰りはバックステップで恐々降ります）。高低差は200m程度なので、のんびり登っても2時間で頂上に到着です。頂上はとても狭いので、記念写真を撮ると、少し下ったところでお湯を沸かしてランチタイム。この日は暖かく風も無くて、こういったひと時に、幸せを感じます。

帰りは、本当にあっという間です。雪山の気分をかみしめながら降りて行くこと、30分程度で、新幹線の駅が見え始めます。楽しいひと時はあっという間。また、明日からは、忙しい現実に逆戻りです。

頂上で記念写真！

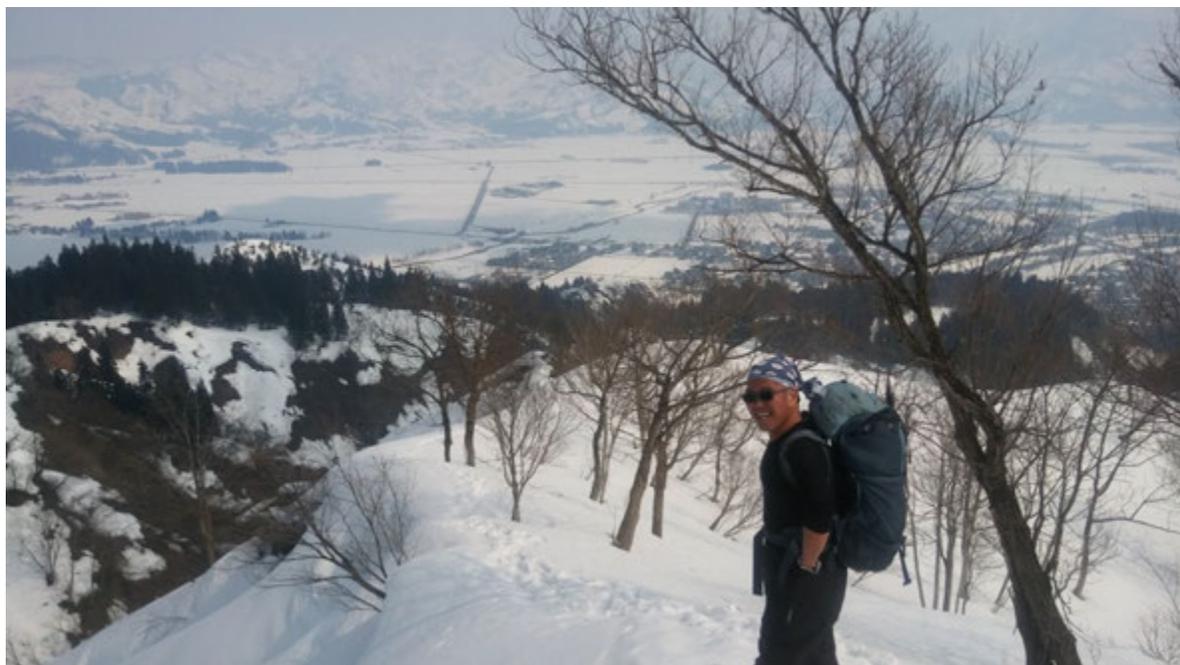




頂上から見た屋根

ランチタイム





尾根から見下ろす平原



楽しそうな2人



雪だるま

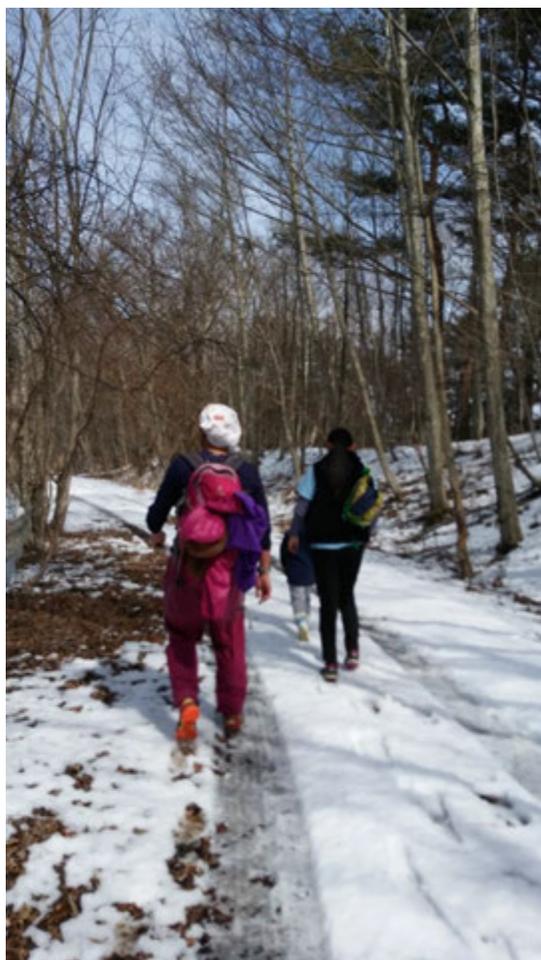
山城： 帯那山(1372.8m)／奥秩父 子連れハイク No. 43

日時：2017/03/25

メンバー： 初鹿、市瀬、他2

コースタイム： 林道に駐車(12:30) -帯那山(13:30-14:35) -林道 (15:30)

子供も連れて行ける、近場でちょっとした雪山をコンセプトに行ったのですが、この時期、子供を連れて凍っているかもしれない山道を登るのはとても怖く、結局雪が出てきたところで、林道脇に駐車をして出発しました。尾根上は、枯葉の敷き詰まった晩秋の趣で、結局雪が出てきたのは、最後の林道のみでした。頂上は広々とした牧草地跡で、日差しもあったのですが、この日は冷たい強風が吹き抜け、あまりの寒さにカップラーメンを食べて早々に退散しました。帰りのルートファインディングが核心でした。



最後の林道

風が冷たすぎて辛いです





牧草地復の頂上



晩秋の屋根っぼいです



自分の足で登ります

新しいスノーシュー

日時：2017/04/30

メンバー： 初鹿、北原、市瀬、他2

コースタイム： ゴンドラ&ロープウェイ（10:00-10:45）-梅池山荘（11:10）- 梅池自然園（11:20-14:30）- ゴンドラリフト中間駅（16:10）



前日に大町のダム前の駐車場に泊まり、梅池公園まで行ってきました。数日前に AMAZON で購入した子供用のスノーシューも持っていきます。ゴンドラとロープウェイを乗り継ぎ、ロープウェイ終点より大人は山スキー、子供達はわかんとスノーシューを履いて梅池山荘へと向かいます。ロープウェイからはほんの10分で山小屋到着。この日は快晴で、お天気のお心配はなさそうです。



梅池公園内のちょっとした高台の下に、銀マットを敷き、私と子供達はここで山スキー&そり遊び、ピクニックをしている間に、山仲間二人は周辺を滑るというプランです。大人二人が出かけた後は、レジャーシートの上で、雪の上にコンデンスミルクをかけて食べたり、雪のケーキを作ったりして遊び、その後、高台にスキーとそりをかかえて、登ります。私もショートスキーを持ってきたので、子供の分と2本を抱えて登ります。眼下には北アルプスの風景が広がり、絶景の中、誰もいないオフピステを滑るのは、例えちょっとした斜面でも気持ちがいいものです。子供達も結構楽しみ、6回は滑ったでしょうか。滑りにいった山仲間二人は、思ったよりも雪が重かったとのことで、早めに帰ってきたので、みんなでラーメンを食べたりしてのんびり過ごします。当初、帰りもロープウェイとゴンドラを使用するつもりで、往復チケット

乗鞍岳をバックに

を買っていたのですが、子供がどうしても滑って帰りたいというので、最後まで行けるか心配しながらも、滑ることにしました。しかし、親のお心配をよそに、子供の今シーズンのスキーの上

達は目覚ましく、数回転んだのみで、雪が繋がっているゴンドラ中間地点まで滑ることができました。16時までの運行だったようですが、待っていて下さり、無事下の駅までゴンドラで降りることができました。子供達も最後は思いっきり滑れて、満足だったようです。ただ、さすがに疲れたようで、車に乗るとあっという間に眠ってしまいました。今シーズン、山スキーは出来なかったですが、山スキーの気分を味わえたので満足です。来年こそはもうちょっと山に復帰出来ればと思います。



雪を掘って冷蔵庫作り

ケーキ作り



ゲームをやっている時には見られない笑顔

ニトで!



ちょっと贅沢なゼリーたち

天然の斜面を滑ります



新しいスノーシューと新しい山スキー



記念写真

今シーズン山スキー

初鹿 裕康

2/17-18 Mt ジーンズから三本槍。メンバー 楠井 一平（無所属）

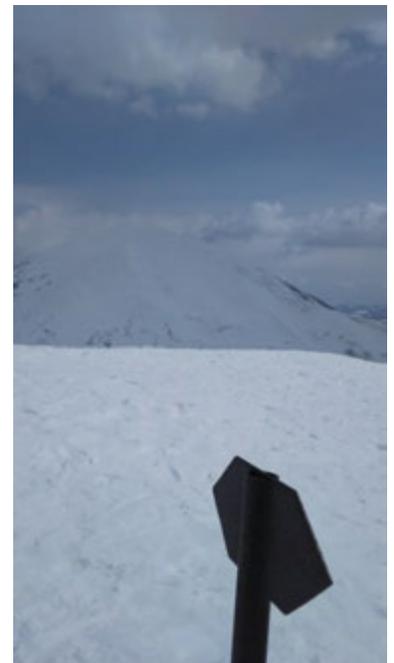
新幹線で板室温泉泊の安いツアーがあったので、それとスキー場のシャトルバスを使って三本槍を目指す。今年は那須も雪が多いらしいので、あとは天気次第。予報では午前中は何とかかなりそうだが、午後から風が強くなるらしい。インフォメーションで計画書を提出し、ゴンドラに乗って上へ。前はもう一つリフトに乗った気がしたと思っていたら、その上のリフトは動かしていないようだった。快晴無風。那須連峰がこんなにきれいに見えるのは3回目にして初めてである。前の2回は強風にやられて景色はほとんど見えなかった。下部はブナの樹林。この辺でテントを張って遊ぶのも楽しそう。しばらく登っていくと先行パーティがいた。彼らのところまで登っていくとそこからしばらくは雪がないみたい。板を外して先を見に行くが、雪の付きは悪く行くのなら兼用靴で登る感じになってしまう。赤面山との合流点まで行ってデポに戻る。天気もだいぶ崩れそうな感じになってきたので、シールを外して戻ることにする。三本槍まで歩いて行っても30分位の所だった。表面がカリカリではないので結構気持ちよく滑って、ブナ林へ。ここまで来れば一安心。緩く滑って止まっているリフトの端に座ってランチ。カップパスタはポットのお湯でもなんとか食べられる。軽く雨が舞ってきたので、ゲレンデを滑り降りた。

翌、板室温泉の裏山（塩沢山）に行ってみる。塩沢神社に荷物を持って登って裏の園地に。ここから林道をスキーをつけて登る。しかし山肌は所々雪がついていないので厳しかった、退。

3/27-29 ニセコアンヌプリ。メンバー 楠井 一平（無所属）



前年度不完全燃焼気味のニセコ山スキー。今回はニセコアンヌプリ国際スキー場周辺で再チャレンジ。前年度のニセコヒラフあたりは発売当初から満室だった。昨年行って初めてニセコエリアの大きさに気



づいたので、今年は計画が立てやすかった。基本初日は移動のみ。2日目ホテルで朝食を食べて、タクシーでモイワスキー場へ。ここを登って見返坂へ滑り降りて五色温泉からイワオヌプリに登る予定。しかし行ってみたら最上部に行くはずのクウッドが昨日の日曜日で終了とか。仕方がないゲレンデ登るか。ペアリフトに乗ってシールを履いてスタート。ゲレンデ登って怒られないだろうなあ。上からパトロールが下りてきてゲートは外してありますので気を付けてだつて。楠井さんがなかなか上がってこないで、リフト終点のそばにあるモイワ山にちょろっと登って戻ってきたら楠井さん到着。ここでシールを外す。見返峠までは雪上車の跡があり、ゆっくり滑っていける。見返峠からはあまりトレースのない斜面を五色温泉に滑り込み、いよいよイワオヌプリ。除雪されていない林道をしばらく右方面に移動し、山頂を右手に見ながら登りに入る。山を大きく回り込んで登っていくと急な登りになる。ジグザグに登って行って小ピークへ。ここから先は緩一く山頂に向かって登っている。一緒に登っていた外人はここで終了らしい。もう1パーティ山頂まで登って来て山頂から谷に向けてドロップイン。我々は無理をせずちょっと下って同じルートに入る。気持ちのいい斜面だ。下りは五色温泉方面に向かって真っすぐ滑っていく。最後ちょっと急な斜面にビビリながら五色温泉。再びシールを張って軽く登り返す。見返峠からはゲレンデのような林道の斜面を滑っていくとホテルにたどり着く。



翌日、去年行き損ねたニセコアンヌプリから五色温泉にチャレンジすべく第2ゲートに着くと結構なガスでホワイトアウトっぽい。シールを張って第2ゲートに入ってそのままロープに沿って第4ゲートに移動。ここからニセコアンヌプリへの踏み跡は大部残っているので、ほとんど見えない中、時折立ってる、棒沿いに登っていく。スキーヤーやボーダーが歩いて降りて来たりする。稜線に出ると風が強い。前も向けない感じで迷っている中、歩きで板を担いだスキーヤーやボーダー荷物もないまま普通に歩いていく。ん〜なんだかなあ。まあこんな天気の中登っても下れなくなったらやばいので、下山することにする。第4ゲートまではあっという間だった。そのままヒラフ〜ビレッジのゲレンデへ。ここからアンヌプリスキー場へは直接戻れないので350円払ってリフトに乗ってアンヌプリスキー場へ戻る。天気は晴れ。アンヌプリ山頂の雲も取れている。なんだか。

最終日昨日の続き。朝のうちはやはり上空には雲。まあ、行けるところまで行ってみよう。第2ゲートをくぐって多少視界が開けているので、今日は板を持って登ってみる。風は昨日よりはな。今日はトラバースせずに斜め上に登っていく。前の人の跡を行くが前の人にはちょっと左に寄りすぎ。急でもやっぱり履いた方が楽だ。稜線に出て昨日の場所からしばらく登ると頂上小屋。時折日差しも出て来る。とりあえず滑る方はガスって

いるので小屋の中に入って待機。なかなかガスが取れずしばらく待つてみるが、ちょっと見えたと思っただけですぐにガスに閉ざされてしまう。間を縫って山頂で待っていたボーダーがドロップイン。その後しばらくまたガス。西面ではなく HANAZONO 方面にドロップインして滑り出すが 20 cm 程の降雪があったようでなかなかスリリング。ちょっと滑り降りたらガスってしまったので待機。上越とかの雪だったらスノーボールになりそうだが、ならないのが北海道。前のトレースは真っ直ぐに HANAZONO に向かっているが我々はなるべく左方向に滑っていく。下に埋もれた交通標識が見えたのでその林道に向かって滑っていくと五色温泉近くの林道へ出る。楠井さんはもう少し五色温泉寄りに滑ったようだ。一昨日通った道を再びたどってホテルに戻って、帰路。

お土産、飲み代込み込みで 5 万円位かな。高いのか安いのかわからないけど。だいぶニセコ周辺の計画の立て方がわかってきたような気がする。

4/17 平標山 メンバー 山里 守広、北原 浩平

久しぶりに山ちゃん参戦。天気はものすごく良いです。元橋の駐車場はほぼ一杯でした。三国小学校の前から行けばいいものの近道をしようとして失敗。もとい。駐車場から真っ直ぐにショートカットのトレースがあったのでシールを着けて行く。別荘地の道は除雪されているが、シールを着けて行けるほど周りには雪が残っている。林道終点を過ぎて橋を渡って、すぐに前の人のトレースを追って左のヤカイ沢に入る。スキーヤーもそこそこ入っている。しばらく緩い登りを登って行き、最後に右の尾根に出るところが核心。汗をかいて右に雪庇の出た稜線を登り、最後藪を板を履いたまま突破すると稜線。後は頂上に向かって登るだけ。山スキーの人より普通の(?) 登山の人が多かった。最近夏道を通らないでヤカイ沢経由でみんな登っているらしい。稜線に出たあたりから後ろにいる山ちゃんの姿が見えなくなる。頂上で山ちゃんを待っていると 30 分位して



やってきた。まあ、時間はあるし。いざ滑り出そうとすると山ちゃんの兼用靴のバックルが留まらないとか。そんなこんなで余分に 30 分掛かってしまった(なんか留め方が悪かったみたい??)。登ってきた斜面を戻ることにして滑り出す。まあまあ快適。登りに藪だったところは少し下を巻けば雪の斜面が続いていた。後は樹林の中を滑ってあっという間に別荘地に出てしまった。

4/30 白馬乗鞍岳周辺 市瀬 江利子、仁、北原 浩平、初鹿 こはく

山ちゃんが痛風で参加できなくなったので、ERIKO&JINを誘って、白馬乗鞍周辺へ雪遊びと山スキー。もちろん急遽こはくも参加。スーパーで買い出しをして、前泊。栂池のゴンドラは労山割引が使えた。初鹿、北原は片道。残りは往復だが往復は割引がないようだ。自然園方面から結構上っている人が多くびっくり。でもだっ広いので混雑はあまり気にならず楽しめる。ERIKO達を自然園近くの小高い丘のところへおっぴり出して北さんと2人で登り始める。時折ストップスノーがあるがまあ快適だった。下りはショートスキーをこはくの靴に無理やり着けて全員で滑降。何とかゴンドラ上の駅に着いた時には16時を回っていたがゴンドラには乗せてくれて助かった。

5/5-6 雨飾山南尾根 (別ページ参照)

5/7 北ア・天狗原 栗原 英一 (杉並山の会)

GW最終日。6日が激しい雨だったので、栂池の駐車場で車中泊。一番のゴンドラに乗って一番のロープウエーへ。ゴンドラからの乗り換え時間は短い。上のロープウエーはなんと8:30丁度に出発したので、乗れたのは我々と他2人。次は30分待ちかと思いきや臨時が出た模様。天狗原に向かうつもりが栂池ヒュッテに行ってしまう戻って仕切り直し。私はスキー、栗原さんは写真である。1時間程で天狗原に登ってあとは風が強くなりそうなと、雨飾山で燃え尽きているのでここから下降。滑ってしまうとあつという間。もったいな。スキー場の下りは2,3回歩きますけど行くなら自己責任でと言われたので自己責任で滑っていく。雪を選びながら滑っていくが結構な長さで雪がなく徒歩。でもフキノトウを見つけたので楽しく採取しながら下りました。ちなみに下の温泉も労山割引がきいた。しかし、栗原さんはシニア料金で入った方が安かったことに後で気づきました(^^)

5/28-29 乗鞍岳 メンバー 楠井 一平 (無所属)

たまにはのんびりの山スキー。5月下旬になれば大雪溪下までバスが入るかと思い、位ヶ原山荘に宿泊予約を入れる。しかしバスは入らず。位ヶ原山荘から歩く羽目に。初日は楠井さんが近道をしようとはまってしまい、藪漕ぎで疲れたらしく途中で脱落。私一人で山頂に行って昨年は細くて滑れなかった頂上直下のルートで滑降し合流。位ヶ原山荘泊。夜は鹿鍋とか出て結構豪華だった。翌日の朝食は5時半か6時とのこと。今年からバスの始発が8時30分に1時間後ろ倒しになったので、大雪溪下までバスに乗るとしたら、早すぎじゃね？バスに乗る予定なら夕食のみにしてもいいかもしれません。今年バスが走ってないので楠井さんは板を背負って道路を歩くことにして私は板を履いてショートカット。今日は楠井さんが10分遅れでやってきた。今日は肩の小屋経由で緩い斜度のルートを選んで登る。多少遠回りだけどこっちの方が楽かも。2回も山頂に登ってしまった。



御嶽山



今シーズンの山スキー2017

北原 浩平

(その1)北信越:黒姫山

(日程)2月4日(土):ゲレンデトップ～黒姫山 2020mピーク～東面～ゲレンデ

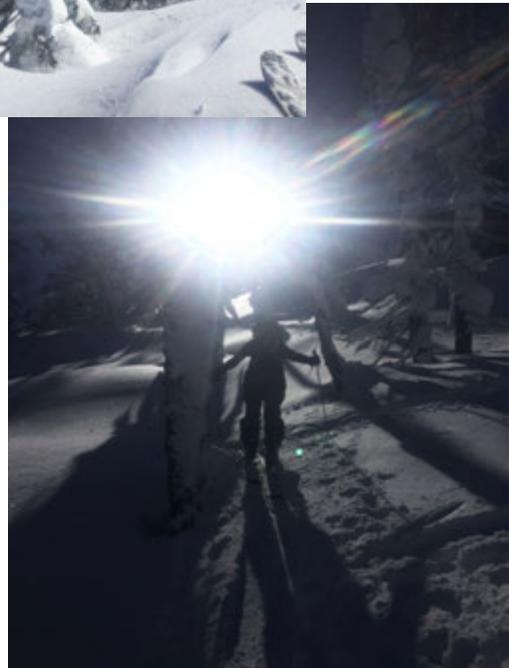
(メンバー)北原、他1名 (RSSA)

(報告)北信にある黒姫山へテレマーカーの友人と、ゲレンデトップから3時間ハイクアップし、2020mのピークから東斜面を滑り降りる。重めの新設だけど、今シーズンの初山スキーでした。



ドロップポイントからの眺め

新雪を登る



(その2)北信越:妙高三田原山

(日程)2月5日(日):ゲレンデトップ～三田原山 2300mピーク～南面～笹ヶ峰

(メンバー)北原、他2名 (RSSA)

(報告)翌5日は妙高三田原山へ。前日とは打って変わって、小雪の一日。2300mの外輪山ピークは風が強いので、さっさと退散し滑降へ。上部はクラスト気味のバーンだが、中腹のブナ林の中にいい雪が残っていた。笹ヶ峰へ下山したら雨でした。

ガスの中を登る



ブナ林を滑る

(その3)会津:三岩岳

(日程)3月11日(土):葎ヶ平~三岩岳 1700m地点~北面~1426mピーク~葎ヶ平

(メンバー)北原、他2名 (RSSA)

(報告)3月11~12日は檜枝岐周辺で山スキー。RSSAの仲間とフランス人の友人の三人チームで。初日の三岩岳の上部は、強風とブリザードのため、1700m辺りから滑ることにする。誰にも会わ

ない雪山で、三人だけのシークレットな北面の沢を堪能。



シークレットな北斜面



雪煙の大戸沢岳

(その4)会津:会津駒ヶ岳~大戸沢岳

(日程)3月12日(日):檜枝岐~会津駒ヶ岳~大戸沢岳~下大戸沢~スノーシェッド

(メンバー)北原、他2名 (RSSA)

(報告)翌12日は、宿の主人の好意で、下山予定地に車をデポできたので、会津駒ヶ岳から大戸沢岳へ縦走し、下大戸沢側に滑り降りる。好天となり会津駒の山頂からは、百名山15座が見渡せた。山頂で出会った地元の山スキーヤーは、ここからは人の住むまちが見えない、スキー場が見

えるのは残念だけどもと言う。大戸沢岳直下の北面には、すでに数名のシュプールがあるが、雪は上等。この山でも北面の沢を探して、三人だけで堪能した。

美しい斜面



北面の沢を滑る



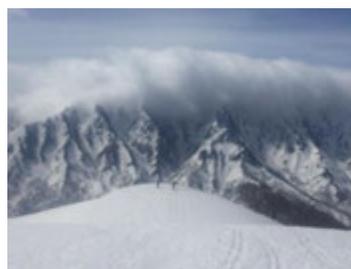
(その5)越後:日向倉山

(日程)4月8日(土):銀山平～日向倉山～日向倉沢～銀山平

(メンバー)北原、他6名(RSSA)

(報告)4月8日、RSSA(スキーアルピニズム研究会)の仲間7名で銀山平から日向倉山へ。予報が外れてまさかの晴天。山頂から大展望を楽しみ、日向倉沢を滑り降りる。この一週間で山はすっかり春山へ。

荒沢岳



(その6)上越:平標山

(日程)4月16日(日):火打峠～平標山～ヤカイ沢～火打峠

(メンバー)北原、山里、初鹿

(報告)4月16日は上越国境の平標山へ。今回は山岳会の仲間3人。久しぶりに山スキーをする仲間に合わせ、楽々ルートでヤカイ沢へ滑り降りた。気温の上昇でこのあたりも今シーズンは終了ですね。



平標ヤカイ沢



しばし休憩

(その7)中ア:木曾駒ヶ岳

(日程)4月23日(日):千畳敷～木曾駒ヶ岳～細尾沢～木曾駒ヶ岳～伊那前岳～千畳敷

(メンバー)北原、他3名

(RSSA・杉勇他)

(報告)4月23日、中央アルプスの木曾駒ヶ岳へ4人チームで。頂上小屋の少し下から、細尾沢側へドロップイン。まだ時間が早く雪面が固く、緊張感が満載。稜線へ登り返し再び山頂へ。帰路は伊那前岳の手前2991mのピーク辺りから、千畳敷へと滑り降りる。



こちらは雪面も柔らかく快適にすべりを堪能する。宝剣岳のアルペンのな景観が美しい。



細尾沢を滑る

(その8)北ア：白馬乗鞍岳周辺

(日程)4月30日(日)：梅池～自然園～船越の頭手前～自然園～梅池

(メンバー)北原、市瀬、初鹿、他2名

(報告)4月30日、山の会の仲間と子連れ山？スキー。梅池自然園をベースに子供たちはソリ遊び。

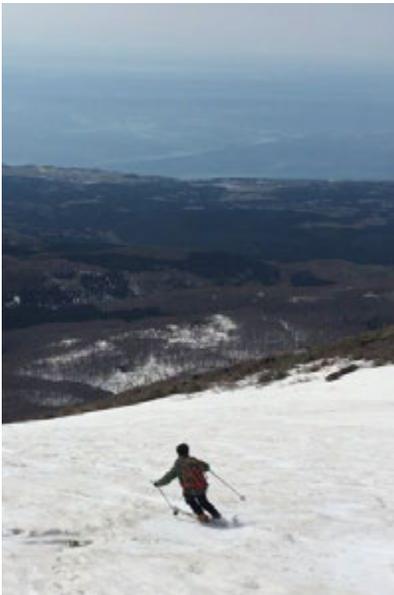
こちらは船越の頭の途中まで登り、滑り降りる。気温が高く所々ストップスノー。



梅池自然園にて



唐松岳をバックに



(その9)東北：鳥海山

(日程)5月4日(水)：大平台(吹浦口)～笹ヶ岳上部のピーク～御浜神社～千蛇谷分岐～大平台

(メンバー)北原、他1名

(報告)今年のGWも東北の山へ。渋滞がひどいので東京を3日の午後に出発し、関越ルートで酒田市へ向かう。駅前の寿司屋で地魚寿司を堪能し、道の駅「鳥海ふらっと」で車中泊。4日、鳥海ブルーラインを大平台(吹浦口)まで上がり、シールでのんびりと登る。笹ヶ岳上部のピークから1本滑り、御浜神社を経て千蛇谷分岐まで。あとは日本海に向かって滑り降りるだけ、これが鳥海山の醍醐味のひとつ。今夜は象潟道の駅にて車中泊。

また日本海の地魚寿司を味わう。翌5日、友人の訃報があり、東北山行を中止し、現場に近い松

本へ象潟から向かう。日本海ルートで見た山々、鳥海山、月山、妙高山。何があっても山は動
ぜず、ただそこにある。



鳥海をバックに滑る

(その10)北ア：乗鞍岳

(日程)5月21日(日)：位ヶ原～富士見岳～位ヶ原

(メンバー)北原、他1名



(報告)5月22日、山再開。乗鞍岳へもちろんスキーも一緒に。剣ヶ峰方面が大混雑なので、富士見岳へ。山頂から穂高連峰を眺める。山頂の岩も暖かく、しばし昼寝して、山頂直下から滑る。位ヶ原まであっという間。

穂高連峰



富士見岳を滑る

(その 11)北ア：乗鞍岳

(日程)5月28日(日)：位ヶ原～剣ヶ峰～位ヶ原

(メンバー)北原、山里

(報告)5月28日、また乗鞍岳。前日の富士山富士宮ルートが雪不足でフラれてしまい、吉田大沢と迷ったけど、同行者に合わせ乗鞍岳剣ヶ峰へ。今回も快晴で快適、頂上小屋の下から一気に滑り降りた。

剣ヶ峰から滑る



剣ヶ峰にて

(番外 1)上越：阿能川岳雪洞

(日程)2月25～26日(土・日): 仏岩トンネル～雪洞ポイント～阿能川岳～仏岩トンネル

(メンバー)北原、山里、初鹿、水野、他1名

(報告)5年ぶりの雪洞山行。水上からとある尾根に取り付き、2～3時間ほど登るとシークレットポイントに着く。やはり2～3時間かけて横穴を掘り、雪洞が完成。大昔の横穴式住居のようで居心地は良い。翌日は雪洞の尾根を登りつめて阿能川岳へ。上越国境の前衛峰で穏やかな雪山。谷川岳は雪の中だった。

雪洞を掘る



阿能川岳
手前のピークにて

(番外 2)上越：高山

(日程)3月20日(月)：毘沙門天～高山～毘沙門天

(メンバー)北原、初鹿、水野、市瀬

(報告)3月20日、三連休最終日だけ雪山へ。毘沙門天から登る越後の高山。低くて小さい山だけど、ちゃんとピッケルの出番もありました。

ちょっとした雪稜





毘沙門天に祈る

(番外 3)富士山：幻の滝

(日程)5月27日(土)：須走五合目～幻の滝～須走五合目

(メンバー)北原、山里、初鹿

(報告)恒例の富士山滑降のため富士宮五合目に行ったのだが、前日の雨が祟ったのか雪面が8合目あたりまで後退しており、転進する。御殿場口もダメで、須走五合目から不浄流しにあるという幻の滝を見に行く。すると後から後から高校生の団体などが押し寄せてくる。結局スキーはあきらめたが、富士吉田口は滑れたらしい。



幻の滝

積雪期のマイナールートも楽しいワン U^e^U その 25

—海谷・雨飾山南尾根の巻—

初鹿 裕康

【コースタイム】

5/5 晴 雨飾荘(6:58)－キャンプ場(8:29)－P3(10:20)(11:10)－P2(12:36)(12:49)－P1 基部(13:24)－雨飾山(15:01)(15:25)－P3(17:22)

5/6 小雨 (6:58)－キャンプ場(8:00)－雨飾荘(8:34)

【パーティ】初鹿 裕康、栗原 英一(杉並山の会)



昨年行きそびれた雨飾山南尾根に再チャレンジ。GWは天気が良いと最初は言っていたが、段々と悪い予想になってきた。4日の昼に東京を出たが上信越道で若干渋滞。でもまあ何とか雨飾荘には夕方に着く。ここの露天風呂は寸志で入れることで、車中泊の人も多いみたいだ。駐車場の浄化槽の上にテントを張って、いつものようにおでんで宴会。ここからは山頂とP1、P2がよく見えている。

翌日雨飾荘のゲートから少し行ったところで除雪は終わっていた。私はスキー、栗原さんはツボ足で登る。林道を進んで行くと雪に埋まったキャンプ場に到着。日本スキーツアールート集ではここからワセ沢に入ってP3に登っていくことになっているので、左の小さな沢に入っていく。この辺はブナ林が美しい。スキーで折り返しながら登って行くと2時間位でP3のピークに出た。本来はP2までベースを上げる予定だったが、



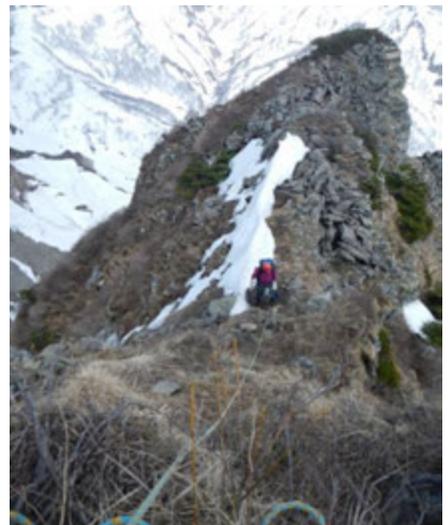
そこまでスキーにこだわっていないので、ここを今日のテン場とする。360度展望の素敵なテント場である。登攀具をセットしアイゼンを履いて、早速稜線を先に進む。結構急な登りでP2へ。先行パーティが見えるが夏の登山道の方から登ってきたみたいだ。そっちの方が近かったかもしれないなあ。彼らはP2からショートスキーで滑り降りて行った。P1は目の前だが、雪が切れていて、しばらく細い尾根の藪漕ぎ。P1はルート沿いにFIXが残っている。P1の取付まで行ってしまおうと確保支点があるかどうかわからないので、最後のブッシュで確保してもらって、一旦下降



して取付く。岩という岩が浮いている感じ。どんなでかい岩も動きそうで怖いので、切れそうなFIXでバランスを取りながら、ブッシュでランニングを取って30m程登ると左にハーケンが3本打ってあったので、ルートを外して、ここで確保。イヤーでも心の中ではここで帰ろうかなどと葛藤するくらい浮き浮きの岩場。栗原さんが登って来て、そのままリードする。何とか25m伸ばして確保した模様。ル

ート上にちょっと戻ったところで上からでかい落石。ヤバッ。何とかよけて登りだすと左にでかい確保支点があった。ここまでが1P目か。そこから左にトラバースしていくともうP1と山頂の間。落石の心配はない。もう2P無駄に伸ばしてザイルを解く。すぐに山頂。日本海も目の前に広がっている。栗原さんがこっちから帰ろうと一般道を指さす。まあ確かにあそこで懸垂するのもかなりリスク。一般道に戻ることにして下っていくが途中雪が切れていたりして歩きにくい。さらに下っていき一旦上り返したところから、左左とトラバースしていくと見事にP3のテン場に戻れた。後はひたすら宴会です。明日の天気は早いのでなるべく早く出ることにして就寝。

明け方5時ころから雨が降ったり止んだり。早すぎじゃね。土砂降りになる前に下ってしまおうと朝食抜きで下山。栗原さんは登山道に向かって真っすぐ下降。私はちょっとP2方面に向かって行きながら、広いところをスキー滑降。



でも、やっぱり P2 の頭からじゃないとイマイチだわ。同じ位にキャンプ場。林道はさすがにスキーが早く雨飾荘に先着。雨の降る中露天風呂を満喫したのでした。



景色を見ながら・・・

－第6回八重山トレイルレース－

初鹿 裕康

日帰りで行けそうなので、試しに水野を誘って見たら参加するという。ショートにする



(22.86km)?と聞くと男の子ならロング(38.55km)でしょというのでロングで申し込む。

上野原の八重山は昔ハイキングで行った。簡単な山だった記憶があるので、まあ何とかなるだろう。当日8時スタートなので始発電車で上野原へ。そこから送迎バスで上野原小学校へ。距離が長いので2リットルのハイドレーションバックを購入し水を入れ、ポカリ、OS1、アミノバイタルの各ゼリーを1つずつ。塩タブレットを両ポケットに10個ずつ持って、上は会のダクロンのTシャツ、下は山用のパンツにランニング用のショートパンツのいでたちでスタート。一旦道路を下に下り、折り返して登ったところが1kmの看板。4分47秒で通過。速過ぎ。ここからいきなり登山道の登り。走れるわけもなく、歩いて登りだす。最初なので渋滞。八重山の頂上から軽く下り、能岳に登り返すとここからひたすら長い

下りとなる。下りはやっぱり抜かれる。道路に出てしばらく道路を走る。わざわざくねくねと中学校の校舎の周りを走ったり、民家の目の前を走ったりと変化に富んだコースではある。そして最初の給水。その前に立派な私設エイドがあった。そしてここからが長い登り、ただただ早歩きで登るしかない。もう登りも終わりかと思っても、あてが外れひたすらに登る。日原峠で2時間。ここからしばらくはトレランぼく走ったりできる。丸山あたりから長い下り。太ももの前の筋肉が痛い。CWX系のパンツの方がよかったかも。膝に悪い。ひたすら下って道路に出ても、またまたわざわざ人の家の庭の前を通ったり、またくねくねと走って最後はコンクリートの坂を下って、ちょっと登り返すとロングの関門(ショートのゴール)である。ここまで3時間12分。この関門の制限は4時間。結構厳しい。ダイジョブかmizuno。水、ミニトマト、梅干し、クリームパンを1つずつ渡してくれたので、全部食べて先へ進むといきなり登り。またまた、ただひたすら登るのである。これは登山か??かなりの時間を登りに費やし、二本木峠からひたすら下り。道路に出てまた山道に入り、また道路に出るとやっと第3エイド。お花畑の中の道をわざわざ通って道路を走って行くと、たぶん往きに通った道。能岳に登り返し、八重山に行つて鐘をついてあとはひたすら下り。何とか6時間を切りたと思ったがさすがに厳しい。最後に一

人抜かれて一人抜いて、八重山の登山口に出るとゴールは目の前。なぜかミズノがいてゴール写真を撮ってくれました。関門に 12 分位、間に合わなかったらしい。

秋山温泉の無料券があって秋山温泉行の送迎バスも出ていたので着替えて向かう。さっぱりして上野原から西八王子に出て打ち上げでした。

6/11 第 6 回八重山トレイルレースー

ロングコース男子 50 歳代 エントリー年代別 122 人 全体 486 人 完走率 85%

初鹿 裕康 6:13:31 40 位/96 人 176 位/360 人

ロングコース女子 40 歳以上

水野 奈保美 DNF

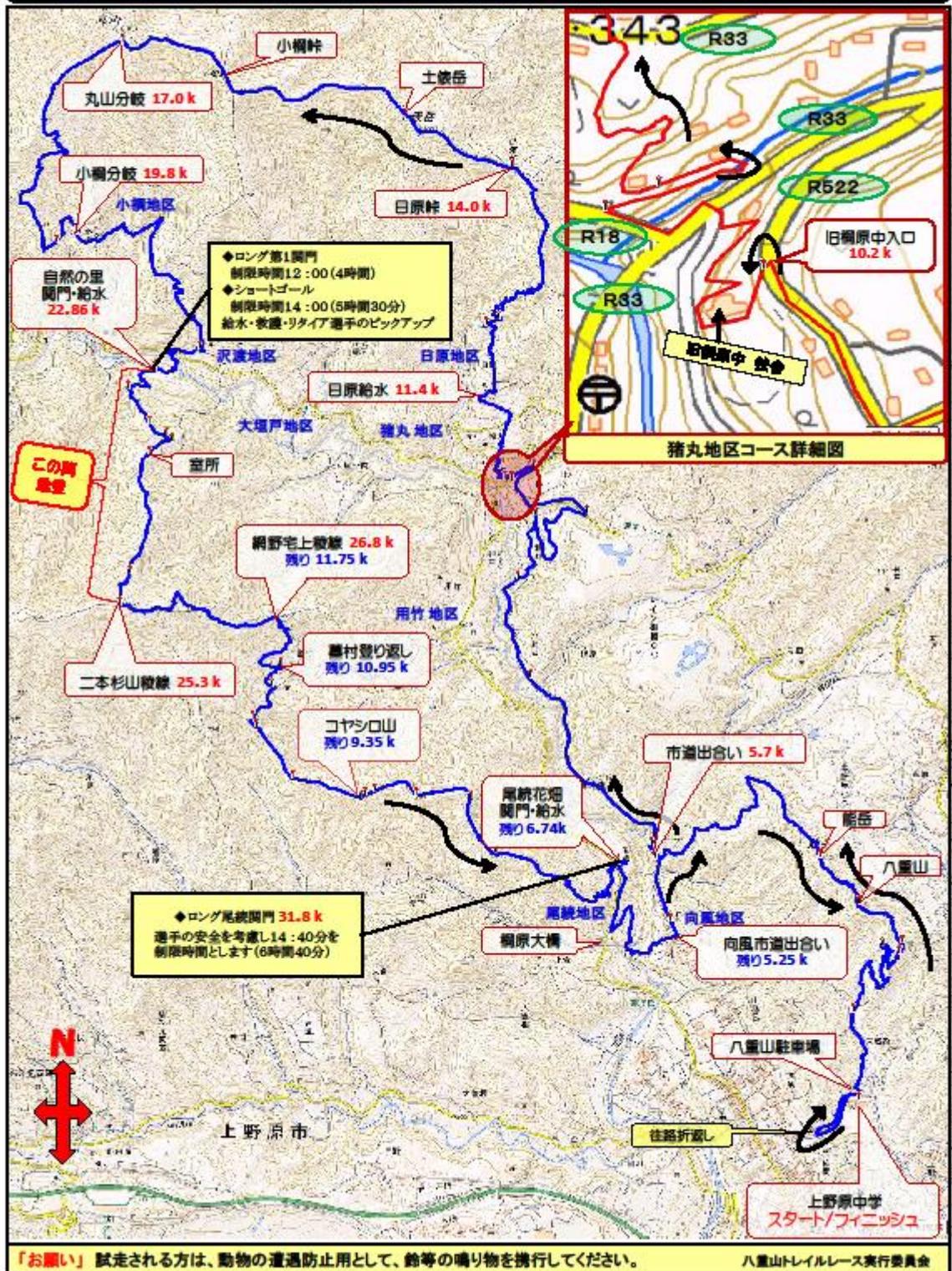
ちなみにショートのゴールと関門がほぼ同じ。関門は 4 時間でカット。ショートだと制限時間 5 時間半。ロングには厳しい制限。ちなみに私の関門通過時でショートと比べると、年代別だと 12/65、全体だと 61/269 位。ロングの方がレベルがだいぶ高いみたいだ。

ちなみに最近靴下はファイテンの 5 本指。豆が来なくて大変よろしい。お薦め。

なんか楽しそう？



第6回八重山トレイルレース（選手用コース概略図）



【お願い】 試走される方は、動物の遭遇防止用として、鈴等の鳴り物を携行してください。

八重山トレイルレース実行委員会

山行一覧(2017.3月～6月)

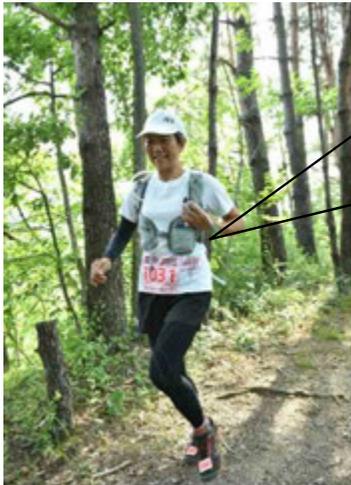
NO.	山行日	山域	ルート	参加者	他	区分
4270	3月5日	奥多摩	聖人岩	小田 佐藤		フリー
4271	3月11日	伊豆	城山	小田 佐藤		フリー
4272	3月11日	北八ヶ岳	天狗岳東壁	小堀 初鹿		1 バリエーション
4273	3月11日 - 3月12日	尾瀬	三岩岳・会津駒	北原		2 山スキー
4274	3月12日	奥武蔵	阿寺の岩場	桜井		1 フリー
4275	3月18日 - 3月19日	伊豆	城ヶ崎	水野		1 フリー
4276	3月18日	奥多摩	青梅丘陵	初鹿		トレイルラン
4277	3月20日	伊豆	城山	小田 佐藤		フリー
4278	3月20日	越後	高山	初鹿 水野 市瀬 北原		雪山
4279	3月20日	奥多摩	陣馬～市道山	平		ハイク
4280	3月25日	伊豆	城山	小田 佐藤		フリー
4281	3月25日 - 3月26日	伊豆	城ヶ崎	水野		1 フリー
4282	3月25日	中央沿線	帯那山	初鹿 市瀬		2 ハイク
4283	3月25日	中央沿線	権現山～屏風岩山	平		1 ハイク
4284	3月27日	北海道	モイワ山～イワオヌプリ	初鹿		1 山スキー
4285	3月28日	北海道	ニセコアンヌプリ(退)	初鹿		1 山スキー
4286	3月29日	北海道	ニセコアンヌプリ～五色温泉	初鹿		1 山スキー
4287	4月1日 - 4月2日	上越	大源太山コブ岩尾根(退)	小堀 初鹿		バリエーション
4288	4月2日	奥多摩	聖人岩	小田 佐藤		フリー
4289	4月3日	奥武蔵	阿寺の岩場	桜井		フリー
4290	4月8日	越後	銀山平～日向倉山	北原		6 山スキー
4291	4月9日	奥多摩	赤ボッコ	初鹿		トレイルラン
4292	4月15日	奥多摩	聖人岩	小田 佐藤		フリー
4293	4月16日	上越	平標山	初鹿 山里 北原		山スキー
4294	4月22日	奥多摩	天王岩	小田 佐藤		フリー
4295	4月22日	中央沿線	要害山	初鹿		トレイルラン
4296	4月23日	中央沿線	藤野・金剛山	初鹿		トレイルラン
4297	4月23日	奥秩父	小川山	水野		2 フリー
4298	4月23日	中ア	木曾駒ヶ岳	北原		3 山スキー
4299	4月30日	奥多摩	天王岩	小田 佐藤		フリー
4300	4月30日	北ア	柵池周辺	初鹿 市瀬 北原		2 山スキー
4301	5月2日	吾妻連峰	浄土平	大坪		1 ハイク
4302	5月3日	奥多摩	天王岩	小田 佐藤		フリー
4303	5月3日	那須	那須岳	大坪		1 ハイク
4304	5月3日	東北	栗駒山	平		1 雪山
4305	5月4日	奥多摩	天王岩	小田 佐藤		フリー
4306	5月4日	東北	鳥海山	北原		1 山スキー
4307	5月5日 - 5月6日	海谷	雨飾山南尾根	初鹿		1 バリエーション
4308	5月7日	奥多摩	天王岩	小田 佐藤		フリー
4309	5月7日	北ア	天狗原	初鹿		1 山スキー
4310	5月20日	奥多摩	青梅丘陵	初鹿		トレイルラン
4311	5月21日		有笠山	小田 佐藤		フリー
4312	5月21日	高尾・道志山系	高尾山～南高尾山稜	初鹿		トレイルラン
4313	5月27日	富士	幻の滝	初鹿 山里 北原		ハイク
4314	5月28日 - 5月29日	北ア	乗鞍岳	初鹿		1 山スキー
4315	6月4日		有笠山	小田 佐藤		フリー
4316	6月4日	奥多摩	赤ボッコ	初鹿		トレイルラン
4317	6月4日	奥多摩	浅間領	山里		多 ハイク

編集後記

「結果」と「評価」は似て非なるものなのである。
「結果」は自らの証と言えるが、「評価」は第三者
が下すものだ。イチロー
確かに・・・。
山登りは結果が全てだね。人の評価を気にするよ
うになったら終わりだよ。すべて自分で抱え込
まない。(H)



八重山トレイルには参った～w
のぼりのぼりのぼりのぼりのぼりのぼりのぼりの
ぼりのぼりのぼりのぼりのぼりのぼりくだりくだ
りくだりくだりくだりくだりくだりくだりくだり
くだりくだりくだ前めりにすっころんで高級タ
イツ破けるりくだりくだりくだりくだりくだりく
だりくだりうぎゃああああ～膝痛いよもうヤダも
うやめて～と思ってたらまさかのタイムアウト。
最初からショートにしとけばよかった！
しくった (M野)



Primula Vol.105 プリムラ山の会

発行日 2017年7月5日

発行所 西東京市柳沢5-8-4

発行者 初鹿 裕康

発行人 大坪 邦久

